jamf

アップグレードする理由

OS 27が従業員の生産性を下げる障害をなくす



はじめに

現代の企業が直面する課題：

- 手動の管理者タスク例
  - オンボーディング
  - 事後対応型サポート
- スタティックアクセスポリシー

これらに共通しているのは、ITオペレーションが概ね静的だった時代を前提に設計されているという点です。現代の管理体制には柔軟性が求められます。このeBookでは、OS 27の新機能が以下のカテゴリにおいて、エンドユーザと管理者双方の無駄な時間と業務の中断をいかに最小化するかを解説します。

- **デバイスの準備状態**
- **アクセスとアプリ**

第1章：デバイスの準備状態

OS 27はITチームにデバイスの状態をより明確に伝え、問題を早期に検出することで、従業員が初回認証からすぐに最高のパフォーマンスを発揮できるよう支援します。



拡張ステータスチャネル

概要

デバイスのチェックインを待たずにリアルタイムで更新される、デバイスの稼働状態に関する非同期テレメトリデータです。

重要な理由

インベントリフィールドにマッピングされた宣言型ステータスアップデートにより、デバイスのライフサイクルと正常性の追跡が自動化されます。宣言が適用されたかどうかを確認できる新しいインベントリフィールドには、以下が含まれます。

- 登録タイプ
- ロックダウンモードステータス
- デバイス構成待機

デバイス監視

概要

新しい宣言から収集されたモバイルデバイスのステータスアップデートで、設定アプリからのみデバイス上で確認できるセンサー情報を提供します。

iOS および iPadOS デバイス向けの一連の新しい宣言ステータスアップデートで、設定アプリ内でのみ確認できるカメラ、ディスプレイ、その他のコンポーネントのシステム正常性を表示します。

重要な理由

エンドポイントのハードウェア正常性に関する詳細なインサイトをITチームに提供します。重要なハードウェアコンポーネントのステータスを評価することで、一般的な正常性チェック、修理の追跡、デバイス更新の準備に役立ちます。

- カメラ
- マイク
- ディスプレイ
- 接続性
- 生体認証

第2章：アクセスとアプリ

OS 27 は複数ステップのプロンプトを管理者が管理する1つのワークフローに集約し、従業員がログイン画面から最初のアプリ起動までをストレスなく、ITへの負担もなく進められるようにします。



プラットフォームシングルサインオン（PSSO）ログインオプション

概要

拡張シングルサインオンがID ワークフローをカスタマイズし、アイデンティティプロバイダ（IdP）とシームレスに統合することで、スムーズな認証体験を実現します。

重要な理由

従来のログインプロンプトを、管理・ID・セキュリティを認証プロセスにネイティブに結びつける多様なオプションに置き換えます。

- 以下のようなセキュリティパラダイムの適用：
  - 生体認証
  - ワンタイムパスワード
  - パスワードレス認証
- 自動デバイス登録との統合
- ジャストインタイムアカウントプロビジョニング

アプリのプライバシー管理

概要

PPPCを置き換え、複数のセキュリティプロンプトをIT担当者が事前に設定した1つの同意プロンプトに集約します。

重要な理由

IT担当者の推奨設定に基づいてアプリに必要なデバイスコンポーネントへのアクセスを許可するプロセスを簡素化し、プライバシーとセキュリティを強化しながら、エンドユーザのオプトインエクスペリエンスを向上させ、双方の推測作業を排除します。

SafariのWebサイト権限

概要

URL ごとにハードウェアベースのコンポーネントアクセスの権限を細かく管理します。

重要な理由

プライバシー管理と同様に、IT部門がカメラやマイクの権限などのコンポーネントアクセスの動作を事前に構成し、エンドユーザには1つの同意プロンプトとして表示することで、プライバシーを守りコンプライアンスを確保します。

第2章：アクセスとアプリ

（続き）

パッケージのアンインストール

概要

宣言型デバイス管理（DDM）を通じてアプリケーションをアンインストールする際、macOSからパッケージコードを完全に削除します。

重要な理由

従来の宣言ではアンインストール後にパッケージを手動で削除する必要がありましたが、現在はこの操作が介入なしに完全にバックグラウンドで実行されます。



チェックリスト

OS 27は、すべてのApple製品でご利用いただけます。デバイス全体へスムーズに展開するために、まず取り組むべき手順を紹介します。



- **Macおよびモバイルデバイスのインベントリを実施し、**OS 27 へのアップグレード適用可否を確認する。
- **インフラを監査し、**リスクやブロッカーを特定・対処する。
  - 展開にPSSOを組み込む前に IdP サポートを確認する。
  - 自動登録ワークフローでデバイス構成待機を検証する。
- **テスト環境のサンプルデバイス**にOS 27を展開する。
  - ITおよびエンドユーザ向けの既存ツールとの互換性をテストする。
  - 必要なアプリのプライバシー管理宣言をテストする。
  - 必要なURLのWebサイト権限宣言をテストする。
- **作業を進めながら結果を記録し、**必要に応じてワークフローを修正する。
- **段階的な方法でデバイス全体にOS 27を展開**し、影響を最小限に抑える。

OS 27 なら、アップグレードの理由は一目瞭然快です。

新機能はIT管理を最新化し、チームがより高度なワークフローを実現できるよう支援します。アップグレードにより、生産性を低下させる業務の障壁が削減され、エンドユーザの作業負荷が大幅に軽減されます。

Jamfがエンタープライズにおけるデバイスの管理、ID、セキュリティワークフローの最新化をどのように支援できるかは、**jamf.com/ja/enterprise**をご覧ください。

jamf

トライアルに申し込む

または、販売代理店までお問い合わせください。

© 2026 Jamf, LLC. All rights reserved.